

“イネカメムシ”の発生に注意！！

管内各地のほ場でイネカメムシの発生が確認されており、水稻への被害が懸念されます。
イネカメムシは、出穂直後の穂を加害し、大幅な減収及び品質低下につながりますので、下記のとおり防除を実施し、収量・品質の維持に努めましょう。

《イネカメムシについて》

| | |
|----|--|
| 特徴 | ・成虫の体長は12～13mm、幅5～6mmで体色は茶褐色 |
| 生態 | ・雑木林等の越冬地から出穂前後の水稻に飛来し、水稻穂を吸汁 ・出穂の早い品種から順に遅い品種へ移動し、被害を及ぼす |
| 被害 | ・出穂期に被害にあった場合、不稔籾が発生 → 収量が低下 ・乳熟期に被害にあった場合、斑点米が発生 → 品質が低下 |

《防除について》

下表のいずれかの剤を使用して防除してください。キラップ剤はイネカメムシに対する感受性低下が認められる事例があるため、使用は避けてください。

| 防除適期 | 農薬名 | 使用量・希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 |
|-----------------------|------------|----------|---------|------|
| 「出穂期」と「出穂期の1週間後」の2回防除 | エクシード粉剤 DL | 3kg/10a | 収穫7日前まで | 3回以内 |
| | エクシードフロアブル | 2,000倍 | | |
| | スタークル豆つぶ | 250g/10a | | 3回以内 |
| | スタークル粒剤 | 3kg/10a | | |

※粒剤は粉剤、液剤よりも1週間程度早めに散布しましょう。

※スタークル剤（粉剤・液剤）を散布する場合は、ミツバチへの危害防止のため、稲の開花期の散布は避けてください。



稲の株元に潜むイネカメムシ(R6:久山町)



穂に群がるイネカメムシ(R6:宇美町)

裏面に品種別の出穂期の目安を掲載していますので防除タイミングの参考にしてください。

《品種別の出穂期の目安》

| 田植え日 | 出 穂 期 | | |
|--------|--------|--------|--------|
| | 夢つくし | 元気つくし | ヒノヒカリ |
| 5月5日頃 | 7月14日頃 | / | / |
| 5月15日頃 | 7月22日頃 | | |
| 5月20日頃 | 7月26日頃 | | |
| 5月25日頃 | 7月30日頃 | | |
| 5月30日頃 | 7月31日頃 | | |
| 6月5日頃 | 8月4日頃 | | |
| 6月10日頃 | 8月8日頃 | 8月16日頃 | 8月23日頃 |
| 6月15日頃 | / | 8月19日頃 | 8月25日頃 |
| 6月20日頃 | | 8月20日頃 | 8月27日頃 |
| 6月25日頃 | | 8月21日頃 | 8月28日頃 |

《出穂期の見方》



止め葉の付け根から穂先が出現した状態を“出穂”といい、ほ場全体の4~5割がこの状態になった時期を「出穂期」という。